

人口に対する社会保障 M. Partowazam
(イラン)

(3) 社会保障における健康協同組合および
共済組合の役割 S. K. Wadhawan (イン
ド) このほかに、ILO事務局の樋口氏
が「アジアの若干の国における無拠出制
給付制度」と題する報告を行なった。

なお、ISSAは、1927年に創設され、そ
の後国際疾病保険基金共済組合会議となり、
第2次大戦で一時活動を休止したが、1947年
に再建会議を開き、規約を一新して現在のI
SSA (International Social Security Associ-
ation) と名称を改め、社会保障にかんする国
際機関として事務総局をスイスのジュネーブ
に置き、総会、評議員会、役員会、その他常
任および臨時の各専門委員会を開催し、社会
保障にかんする大綱および細目について、技
術的、管理的面から検討を行なっている。19
68年11月10日現在、97カ国の219団体が正会
員として、また58団体が準会員としてISS
Aに加盟している。日本では、社会保険庁、
労働省、国鉄共済組合、健保連および国保中
央会が正会員、また全社連、船員保険会およ

び厚生団が準会員である。

ISSA, *Agenda of the Third Regional
Conference and of the Third Meetings of*

*the Regional Committees for Asia and
Oceania, and other documents, 1968-69.*

(石本忠義 健保連)

ISSA 社会保障研究にかんする研究 グループ主催国際会議——Conference on Research in Social Security.



ISSAは、アメリカ社会保障庁のメリア
ム夫人 (Merriam) を議長とする研究グループ
Study Group on Social Security Research
を組織して、(1) 社会保障にかんする研究を
奨励・促進、(2) 社会保険障害における比較
分析方法を応用、(3) 各国の社会学者、社
会保障専門家のために、研究知識・情報の交
換の機会を提供するなどの活動を行なってい
る。この研究グループは、すでに加盟機関が
自らまたは後援して実施した研究について予
備調査を行ない、また将来研究を奨励すべき
研究分野の確認を行なってきたが、さらに現

在は研究連絡員網をつくりつつある。

このような活動の一つとして、この研究グ
ループは、1969年9月28日から10月2日ま
での5日間、オーストリアのウィーンで、「社
会保障における研究」という一般テーマをか
かげて国際会議を開くこととなった。討議の
焦点は「急激に変動しつつある社会における
個人と家族の所得保障の形式と水準に影響を
及ぼし、決定する規準」にしばられている。
そしてこの会議は、現在の重要な研究動向を
利用し、分析方法を高め、現代世界における
社会保障の評価の基本となる諸概念について

の理解を深めることをねらっている。

会議の参加者は、研究グループのメンバーのほか、加盟機関、研究所、大学で今回の一般テーマにかんする研究を活発に行なっている人々に限定されている。会議のプログラムに示されているとおりに、この会議には、社会保障にかんする国際的権威が一堂に会するのでレベルの高い議論が展開され、立派な成果があげられるものと期待される。会議は、三つの主論文を中心とし、多数の討議論文によってこれを補完し、最後に一般討議が行なわれ、別に、一般参加者の提出論文を討議する機会が設けられている。

会議のプログラム

第1日

Opening Session

Welcome by Mr. R. Melas, President of the International Social Security Association.

Remarks on the purpose and organization of the Conference by Ida C. Merriam, Chairman of the Study Group (USA).

Introduction to the theme of the Conference by Mr. C. Michel, General Reporter (France).

第2日

Theme 1: Social Insurance Benefits and Earnings Replacement in a Dynamic Economy

Chairman: Mr. K. Jantz (Federal Republic of Germany)

Reporter: Mr. K.-H. Wolff (Austria)

Presentation of Paper: Relating Social Insurance Benefits to Earnings

Speaker: Mr. D. Zöllner (Federal Republic of Germany)

Presentation of Discussion Papers

General Discussion

第3日

Theme 2: The Role of Social Security Systems in Maintaining Minimum Levels of Living

Chairman: Mr. J. Osborne (Canada)

Reporter: Mrs. Lenore Epstein Bixby (USA)

Presentation of Paper: Social Security for

Women and Men: Minimum or Adequate Levels of Living?

Speaker: Mr. R. M. Titmuss (UK)

Presentation of Discussion Papers

General Discussion

第4日

Theme 3: The Uses of Economic and Social Surveys in the Planning, Evaluation and Administration of Social Security Programmes

Chairman: Mr. P. Laroque (France)

Reporter: Mr. A. Delperée (Belgium)

Presentation of Paper: Recent Developments in Survey Research Related to Social Security Needs and Achievements

Speaker: Mr. P. Lavau (France)

Presentation of Discussion Papers

General Discussion

第5日

Contributed Papers Session

Presentation and Discussion of Contributed Papers.

Concluding Session

Summary of discussions of three themes by the Reporters.

Summing-up by the General Reporter

Closing of Conference by the Chairman

(保坂哲哉 社会保障研究所)